

SCHEDULE

展覧会スケジュール 2026

企画展

2026年5月1日（金）－6月28日（日）

暗闇をくぐってみたら Part1. 竹内公太展 のののののまつり

2026年7月18日（土）－9月23日（水・祝）

暗闇をくぐってみたら Part2. 笹岡由梨子展（タイトル未定）

2026年1月～4月下旬の改修工事に伴う完全休館後、9月までの部分的開館の期間に、作風の全く異なる2組のアーティストによる劇場型の連続個展を開催する。ミュージアムショップの奥にある秘密の入口をくぐり、真っ暗な闇を進むとそこは日常とは異なる世界が広がっている。第一弾となるのは、石碑や歴史の遺構をテーマに制作をするアーティストの竹内公太による展示。第二弾はキャラクターと歌を核に独自の物語空間を作り出すアーティストの笹岡由利子による展示。

2026年10月17日（土）－2026年12月20日（日）

河口龍夫展「関係－無関係 湖畔にて」

河口は1960年代から国内外で活躍する日本を代表するアーティスト。「見えること」「見えないこと」、そしてそれらの関係性をテーマに制作活動を続けている。作品は「見えるもの」、あるいはたとえ「見えないもの」であっても存在する確かな物質感やそこに流れる時間や空白、物の生や死を感じさせる。本展では、美術館建築や周辺環境から着想を得た新作の他、房総のアトリエで制作された未発表作品を中心に展示構成される。

2027年1月9日（土）－2月7日（日）

第14回市原湖畔美術館子ども絵画展

展示構成にアーティストを起用し、現代美術を扱う美術館ならではのユニークな子ども絵画展を開催。公募作品の中から選んだ、想像力豊かな、個性あふれる子どもたちの絵をアーティストの作品とともに展示する。今年の公募テーマは「くつ」。子どもたちにとって身近な「くつ」というモチーフを通じて創造力が広がる空間を展開する。

ゲストアーティスト：水戸部 七絵

SCHEDULE

展覧会スケジュール 2026

常設展

2026年7月18日（土）－9月23日（水・祝）

曖昧な気配

読み取れない表情、合わない視線、不可思議なモチーフの配置、現実感のない景色—作品の背景に漂う奇妙な違和感が創造力をかきたてる。市原市が所蔵する約730点の作品から左京武允、小松富士子、武内和夫など様々な作家の作品約20点を展示する。

2026年9月29日（火）－12月20日（日）

深沢幸雄と文学の世界 Vol.1

2027年1月9日（土）－2027年2月7日（日）

深沢幸雄と文学の世界 Vol.2

日本を代表する版画家であり、市原市名誉市民である深沢幸雄。文学に親しみ、宮沢賢治の詩画集をはじめとした挿絵を数多く手掛けてきた。文章からイメージを拾い上げ、抽出し、深い表現を追求した深沢の挿絵は、文学の世界観を可視化している。本展では、文エドガー・アラン・ポー、萩原朔太郎、中原中也などの文学から着想を得て制作された銅版画作品を展示する。

2027年2月13日（土）－3月28日（日）

かたち、いろいろ

1974年にメキシコを訪れた深沢幸雄は、その文化に魅了され、抽象的な文様や幾何学のような図形、鮮やかな色使いが特徴的な作品を手掛けるようになった。華やかでありつつも根源的なパワーがみなぎる同氏の1970～80年代の作品とともに、氏の教え子でもある高橋甲子男、鶴岡洋の作品を展示する。

*メンテナンス休館：4/1～4/30、6/29～7/17、9/24～9/28、12/21～1/8（年末年始休館を含む）
2/8～2/12

*本スケジュールは予告なく変更する場合がございます。

美術館や展覧会に関する詳細は、美術館HPやSNSをご覧ください。